



(第 64 図)

### (38) 飛騨国絵図全区別図 (第 64 図)

年代 高山県時代 慶応 4 年 (1868) ~明治 4 年 (1871)

寸法 120×96.3

所蔵 高山市教育委員会 (角竹文庫)

この絵図は 8 枚の紙をつなぎ合わせた版本の地図で、1 枚の紙は約 36×48 センチである。版本の状態は悪く、裏打ちがされ、凡例の下が欠損している。黒、赤、青、灰、薄緑色の 5 色刷りで、図の上が東方向である。古城址が○印、各村が赤色で塗りこまれている。版木がしっかりとしているようで、字は鮮明である。

元になった図は「第 63 図『絵図』」と思われる。内容はほぼ同じであるため、版本として何枚か作製されたのであろう。

また、刷られた地図の上に、高山県時代の「大区」名が朱書きされている。高山が第五区、丹生川が第六区、朝日、高根が第七区、宮、久々野が第八区、清見が第十三区、国府が第十四区、荘川、白川村が第十二区に表記されている。また高山町に「高山縣」と表記されている。

表紙には版画の題せんが貼られ、「飛騨国絵図全区別図全」とあり、「第三十九号、地第貳拾号」と貼紙の上に墨書される。「高山尋常高等小学校図書印」の 5 センチ角の印が表紙と本紙地図に押印されてい

る。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。